



2025 年 9 月 30 日

三日月興業株式会社向け「ポジティブインパクト評価」の取組みについて

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2025 年 9 月 30 日（火）、三日月興業株式会社（代表取締役 小高 秀元）に対して、「ポジティブインパクト評価」を実施しましたのでお知らせします。

当行グループは、「一人ひとりの思いを、もっと実現できる地域社会にする」をパーパスに掲げ、事業者さまのサステナビリティ経営および企業価値向上への貢献を目指すとともに、地域社会のパートナーとして、社会・環境課題の解決に資する取組みを一層推進し、地域に寄り添うエンゲージメントバンクグループを目指してまいります。

■ポジティブインパクト評価について

ポジティブインパクト評価とは、企業活動が経済・環境・社会に与えるインパクト（ポジティブおよびネガティブな影響）を包括的に分析・評価するもので、企業活動の継続的な支援を目的としています。

当行が実施するポジティブインパクト評価は、当行とグループ会社である株式会社ちばぎん総合研究所が共同で行い、事業者さまの K P I（目標）設定やその進捗管理を支援します。また、当行と株式会社ちばぎん総合研究所が共同して実施した評価について、株式会社日本格付研究所より第三者意見^{※1}を取得することで客観性を担保します。

なお、本制度のフレームワークが国連環境計画・金融イニシアチブ（U N E P F I）^{※2}の公表する「ポジティブ・インパクト金融原則」に適合していることについても、同様に株式会社日本格付研究所より第三者意見を取得しています。

※1 ポジティブ・インパクト金融原則への準拠性、活用した評価指標の合理性についての第三者意見

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。 (<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>)

※2 国連の補助機関である国連環境計画（UNEP）と金融機関の自主的な協定に基づく組織

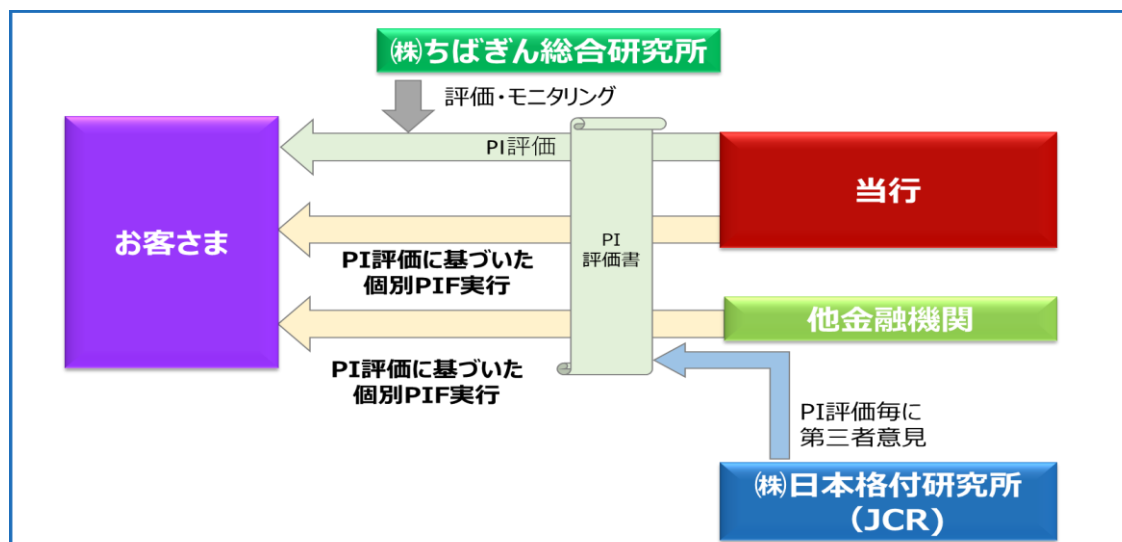
■三日月興業株式会社について

三日月興業株式会社は千葉県勝浦市に本社を構え、宿泊施設を運営しています。「これまで歩んできた観光業としての歴史を基盤として、地域の魅力を最大限に生かした新たな観光地を創出する」を経営ビジョンに掲げ、勝浦市にあるビジネスホテル「三日月イン」、いすみ市にあるラグジュアリーな温泉リゾート「五氣里^{いっきり}」を運営しています。また、御宿町にて新たなリゾートホテルの建設を進めており、運営を通じて南房総地域の観光振興と活性化に貢献しています。

本ポジティブインパクト評価では、地域の観光振興や地元食材の提供による地域の魅力の発信等を K P I に設定しました。経済、環境、社会に貢献する取組みを通じて企業価値向上を図ることを目指しています。

以 上

<スキーム図>



【ポジティブインパクト評価の商品概要】

評価対象者	事業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ効果を増大させ、ネガティブ効果を特定・緩和し、SDG s の達成に向けて活動する法人
K P I (目 標)	SDG s 達成に向け、経済・環境・社会に対する、以下についてK P I を設定していただきます。 (1) 1つ以上の側面でプラスの貢献をすることが分かる指標 (2) 潜在的なマイナスの影響を特定し、緩和することが分かる指標

【三日月興業株式会社向け「ポジティブインパクト評価」の概要】

評価実施先		三日月興業株式会社	
評価実施日		2025 年 9 月 30 日 (火)	
評価内容	領域 (テーマ)	取組内容およびK P I (目標)	関連するSDG s
	社会 社会経済 (健康および 安全性・健全 な経済)	・「五氣里^{いっきり}」および新たに開業するホテルの宿泊者数を 2028 年度までに 21,000 名以上とすることで地域経済の活性化に貢献する (2024 年度実績 : 13,200 名)	 
	社会 自然環境 (資源とサー ビスの入手可 能性、アクセス 可能性、手ごろ さ、品質・サー キュラリティ)	・「五氣里^{いっきり}」および新たに開業するホテルにおけるレストランの利用者数を 2028 年度までに 7,000 名以上とする (2024 年度実績 : 3,959 名)	 
	社会 (生計・平等 と正義)	・女性社員の雇用者数を 2028 年度までに 7 名以上増加させる (2025 年度実績 : 17 名 〈7 月現在〉) ・外国人の雇用者数を 2028 年度までに 5 名以上増加させる (2025 年度実績 : 5 名 〈7 月現在〉) ・65 歳以上の雇用者数を 2028 年度までに 9 名以上増加させる (2025 年度実績 : 18 名 〈7 月現在〉) ・2028 年度までに毎年 3%以上のベースアップの実施を継続する	 
その他		上記K P I については千葉銀行とちばぎん総合研究所が共同し、その進捗状況について年 1 回モニタリングを行うことで、評価実行後も伴走支援を行ってまいります。	